



市内体育施設の利用について

佐藤 真

問 近隣市で行われているホームページから市内体育施設の予約などができるWEB予約の導入についての見解は。

答 近隣市で導入している共通の公共予約サービスは、システム改修を予定しており、今のタイミングで当局が導入すると費用負担が割高になることから導入を見送っている。

しかし、利便性向上や「コナ禍」のことを鑑みると、WEB予約システムの導入は、有効であるので、現在使用している汎用的な予約システムの活用を段階的に進めていく。

問 市内体育施設を、より多くの方や団体に使用してもらうために、予約方法の改善は。

答 指定管理者による利用者アンケートに予約方法に関する設問を設ける

など、利用者の意見を聞いて、より利用しやすい環境づくりを検討していく。

今後の部活動のあり方についての見解は

問 現在、部活動において教員の負担軽減と少子化の課題解決が求められているが、今後の部活動について市の見解は。

答 教員の負担軽減に関しては「日高市立中学校の部活動方針」を策定し、教員の負担軽減に役立っている。また、少子化に対しては、単発的ではあるが、一部の学校同士でチーム結成や合同練習、大会出場も行った。部活動の地域移行に関しては、さまざまの方の意見を聞きながら、部活動指導員も含めて必要な検討や協議、研究を進めていく。

問 日高陸橋下の市道幹線



改善が求められる日高陸橋下の道路標示

線88号の右折レーンを誤って使う方がおり、接触事故の原因になりかねない現状がある。このことから、標示の改善について市の見解は。

答 文字の道路標示も含めて、さらなる利便性向上のため、どのような手段を講じることができるか、飯能警察署と協議していく。



日高市民まつりについて

金子 博

問 令和4年度の市民まつり開催について市の考えは。

答 今年度は、ぜひとも開催したいと考えているが、新型コロナウイルスの感染状況は、まだ収束が見通せない状況にあるため、ご来場いただくお客様が安心して安全にお楽しみいただけるよう関係団体と連携し、準備を進めていく。

曼珠沙華まつりについて

問 令和4年度の曼珠沙華まつり開催について市の考えは。

答 近隣市をはじめ、県内各所で各種イベントが開催されている状況を鑑み、国の基本的対処方針や県からの要請に十分対応した上で、関係団体等と連携を図りながら可能な限り開催したいと考えている。

高萩南農村研修センター

問 高萩南農村研修センターの廃止について市の対応は。

答 「日高市公共施設再編計画」では当該施設は利用状況や費用対効果などから令和4年度をもって廃止することとしているが、施設除却の方法を決定するまでの間は、地域の皆様に活用いただきたいと考えている。

問 併設されている農業用井戸の利用について市の考えは。

答 老朽化が進んでいるが、当面の間は、使用することが可能であると考える。施設の状態や使用実態等を把握し、今後の施設の管理や必要性について検討していく。

新高萩公民館について

問 現在までの進捗状況は。

答 7月末の完成に向けて順調に進捗している。



完成間近な新高萩公民館

問 現在の公民館の土地利用は。

答 解体後の利用方法は、現時点では未定であるが、費用対効果を考慮の上、よりよい利用方法を検討していく。